

	就学前	1stステージ	2ndステージ	3rdステージ
		1年～4年	5年～7年	8年・9年
発達段階	<ul style="list-style-type: none"> 保護者や友達に受けとめられることにより、自信を持って行動できる段階 相手の気持ちや意見を理解し、受け入れられる段階 	<p><u>自己肯定感や自己有用感が優勢</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 心地よいものに進んで取り組み、嫌なことは避けようとする等、直感的に行動する段階 自尊感情は周囲の愛情によって育まれ、自分のことをよく分かってくれている人がそばにいることで、自分が大切な存在であると実感できる段階 感情表現は直接的で、自己中心性が強い段階 	<p><u>自我同一性の芽生え、自分探しの時期</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 少しずつ他者を意識するようになり、他人から見た自分を客観視するように推移する段階 メタ認知を通して自我同一性が芽生え、理想と現実のギャップから自尊感情が低下傾向を示す段階 感情表現が直感より客観的思考が優勢となり、他者の目を意識することが顕著な段階 	<p><u>自己概念、アイデンティティがほぼ確立</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 理想像と現実の自分を客観視できるようになり、なすべきことやあるべき自分を展望できる段階 自己の言動が他にどう映るかを客観的に判断し、自己選択・決定しながら自己実現を図る段階 感情表現は自分の立場や他者への影響等を考慮しながら、コントロールしたりできる段階
学びの方向性 <読解力の育成>		<p><u>基礎となることを繰り返しながら習得</u></p> <p><基礎学力(正しく読む・書く・計算する)> <論理的思考力(筋道立てて考える)> <情報活用能力(情報の適切な選択・活用)></p> <p>主語と述語、修飾語と被修飾語の関係が分かる 「これ・あれ」等の指示代名詞の指すものや、省略された主語や目的語を把握できる</p>	<p><u>身につけた基礎となることを活用しながら定着</u></p> <p>2つの文章や意見が同義か否か分かる 学習したこと使って「～なので～である」と論理的に判断できる</p>	<p><u>基礎基本となることを応用しながら課題を解決</u></p> <p>図やグラフの意味を説明できる 理科や算数(数学)の言葉の定義を「～とは～である」と説明できる</p>
学校生活の方向性 <人間力(非認知能力)の育成>		<p><u>集団生活、人間関係の基盤を形成</u></p> <p>目標の設定、終学活や行事後に振り返る きまりを守る <自己管理能力・道徳性・規範意識></p>	<p><u>互いの良さを認め支え合える集団づくり</u></p> <p>仲間を認め支え合う 仲間と協力して取り組む <協調性・コミュニケーション力・共感性></p>	<p><u>自分らしく生きようとする態度の育成</u></p> <p>目標や課されたことに対して主体的かつ協働的に取り組む、実行する <主体性・実行力・創造性></p>
		<p>読み取る</p>	<p>考える</p>	<p>伝える</p>
		<p>自分を整える力</p>	<p>他者とつながる力</p>	<p>自分を高める力</p>

